

CONTENTS

- 2 キラリ輝く奥州人
- 3 広報紙で振り返る奥州市の10年
- 4 【特集】あなたにもできるやさしいまちづくり
- 10 マイナンバーが記載された通知カードが届きます
- 12 平成26年度 決算
- 16 リサイクルの実態を知ろう
- 18 百歳おめでとう
姉妹都市 掛川だより
- 19 全国の舞台で活躍
トマス・アンナの あんなことこんなこと
- 20 おもっちニュースレター
- 21 市政ズームイン
- 22 まちの話題
- 24 夢トーク
青春讃歌
- 25 雨の日も晴れの日も
市長コラム「おうしゅう羅針盤」
- 26 我が家のアイドル
子ども喜ぶ人気メニュー
- 27 子そだて広場
子そだて行事予定
- 28 情報あらかると
- 32 奥州遺産

地域の個性が
ひかり輝く
自治と協働のまち
奥州市

キラリ輝く
奥州人

手打ち金具の技と魅力を
たくさんの人に届けたい

及川 洋さん（41歳）
江刺区銭町



龍や唐獅子、牡丹など生き生きとした絵柄が彫り上がっていく

「トントン、カンカン——」江刺区愛宕の工房にリズムカルな音が響く。槌で鑿（う）を打ち鉄に絵柄を彫る及川洋さんは、現在2社4人だけになった岩谷堂筆筒の彫金金具の技を受け継ぐ1人だ。

地元江刺に生まれ、祖母の家には岩谷堂筆筒があった。小さい頃から絵と機械が好きで、高校卒業後は東北工業大学で工業デザインを専攻。就職を考えたとき「物を作る仕事がしたい」と思い立ち、彫金工芸「菊広」の門を叩いた。金具のやすりがけから始ま

り、筆筒の端の金具、錠前金具、細工金具と技術を深めてきた。今では注文に応じ、洋風の絵柄を彫ることもある。現在、岩谷堂筆筒の金具はほとんどが铸件。しかし洋さんは「何もないところから作れば、大きさも絵柄も自在。他に同じ物はない1点もの」と手打ち金具の魅力を語る。「受注するだけじゃなく、選んでもらえる物を作って提案していきたい」。ことし師匠から工房を継いだ洋さんは、彫金金具の未来を見据え、熱意を胸に今日も槌を振るう。



〈今月の表紙〉

9月19日と20日、市内各地で市立幼稚園の運動会が開催されました。19日は朝まで降った雨のため、体育館での開催となった幼稚園もありましたが、20日は好天に恵まれ、園児たちは青空の下で競技を行いました。

写真は、前沢南幼稚園の年中児による障害物競走「わんぱくっこ」への道の1こま。狭い一本橋を渡り台の上にとどろき着いた園児たちは、力いっぱいジャンプでわんぱくぶりを披露しました。応援に訪れた保護者たちは、園児たちのかわいらしいしぐさに目を細め、活躍に歓声を上げていました。

広報紙で振り返る

奥州市の10年

第7回（2012年版）

水沢市・江刺市・前沢町・胆沢町・衣川村の5市町村が、平成18年2月20日に合併して誕生した本市は、28年2月20日で丸10年となります。その節目を迎える本年度は、これまで広報紙に掲載した主な出来事を、皆さんに毎月お知らせしていきます。

■問い合わせ〓本庁政策企画課広聴広報係（内線419）

復興に向けてつながる
人と人との絆

市は、24年7月から「絆交流事業」を開始。仮設住宅で生活する被災者を市内の温泉などに招待する「被災者リフレッシュツアー」や、買い物を通じて復興を支援する「被災地支援ツアー」など、継続的な支援を行いました。

また、復興支援奥州ネットが「ホープラザ奥州」を設置。被災者への情報提供や交流活動に取り組むなど、市民レベルでも本格復興に向けた支援が広がりました。

奥州の星が球界入り

この年、野球ファンのみならず、多くの市民が注目したのが大谷翔平選手（花巻東高校・水沢南中出）でした。水沢リトルリーグ、一関リトルシニアを経て、花巻東高校で全国屈指の投手に成長し



沿岸被災地の復興支援を
特集した広報おうしゅう 2012年9月号

10年の節目を迎える
市民に聞く――



渡邊 カチ子さん（75）

profile
わたなべ・かちこ◎昭和14年、水沢区黒石町生まれ。平成18年8月から原中第二行政区の民生児童委員を務め、10年目を迎えた。19年には同行政区にいきいきサロン「よつばの会」を立ち上げ、現在も活動中

私が民生児童委員を担当するようになってから、高齢者の一人暮らしや空き家が多くなりましたし、認知症かなと思われる人も増えていて感じます。一方で、介護サービスや介護予防が浸透してきて、早めに対応できるようになったのではないのでしょうか。

私も元気に過ごせるよう、趣味活動やボランティアなどに参加しています。国体の弓道競技リハーサル大会では、ボランティアスタッフとして美化係を担当しました。いろいろな人と楽しく交流でき、本番の参加も決めました。来年はぜひ成功させたいです。今は合併10年目で、時代が変わり目なのだと思います。市として一つになって、若い人たちが「住み続けたい」と思える魅力あるまちに変わってほしいですね。



記者会見で栗山監督と握手を交わす大谷選手

年月日	合併7年目の主な出来事
24. 2. 28	ILC出前講座の取り組みを開始
3. 3～4	市文化会館開館20周年記念公演として奥州◇市民劇「ひびけ木貝よ！―寛政の義民清三郎と正覚坊の青春―」が上演される
4. 1	公民館と地区センターの一元化を開始
5. 13	細野豪志環境大臣が黒滝温泉の木質バイオマス発電システムを視察
6. 10	第1回奥州はっとフェスタが開催される
6. 25	市民憲章推進協議会が発足
7. 2	被災者・被災地支援を目的とした絆交流事業をスタート
7. 6	市ILC推進連絡協議会が発足
8. 19	市文化会館開館20周年記念事業オペラ「椿姫」が上演。奥州大使の福井敬さんが主演を務める
9. 9	胆沢区の狼ヶ志田神楽150周年祭が開催される
9. 27	第71回国体市準備委員会を発足
10. 4	石淵ダム・胆沢ダム引継式が挙行され、治水・利水機能が移管
10. 7	えさし藤原の郷が入場者400万人達成
11. 23	奥州ONE LOVEタウンが初めて開催される
12. 9	大谷翔平選手がプロ野球北海道日本ハムファイターズへの入団を表明
25. 1. 13	岸田康平君がショパン国際ピアノコンクールアジア大会で金賞を受賞